

共通質問 Q1	
三原市に転入した理由は何ですか。なぜ三原市を選びましたか。	
Aさん (会社員)	転勤
Bさん (専業主婦)	夫の転職(尾道市)で千葉県市川市から尾道市に転入後、三原市に転入した。夫の職場からの距離と尾道市の漠然としたイメージ(映画, 風光明媚)から東尾道に住んでみたが、住みにくかった。車の免許を持っておらず、子どもも小さかったので、徒歩圏内に買い物に行ける場所が少ないことが不便だった。何度か三原市に来る中で、買い物, 病院などが駅に近い点に便利さを感じ、三原にマンションを借りて仮住まいをしてみることにした。仮住まいをしながら、地域の方, 特に女性のネットワークから買い物, 学校, 利便性などの話を聞き、さらに住む場所の情報も得て、三原市の転入を決めた。夫も三原なら通勤圏内だった。
Cさん (会社員)	転勤
Dさん (会社員)	転職
Eさん (会社員)	転勤
Fさん (会社員)	地域おこし協力隊として転入。 青年海外協力隊でガーナ共和国から帰国して、神戸市に住みながら仕事を探しているタイミングで、親から三原市での就職も考えてみてはとすすめられた。その時に見付けた地域おこし協力隊の内容に興味を持った。三原市出身だから三原市に関わりたい思いもあった。 大和町に縁はなかったが、新しい土地で新しい人間関係を構築したいという思いと、地域おこし協力隊の募集のタイミングが同じだった。
Gさん (地域おこし協力隊)	地域おこし協力隊として転入。 佐木島には興味があった。将来的に自分の店を出したいと考えて、その前に出店する地域の人と交流が持てる地域おこし協力隊になった。また、3年の任期を終えたら独立支援金として100万円がもらえることも好都合だった。
Iさん (パート)	夫の転勤
Jさん (会社経営)	妻の実家の家業を継ぐため。
Kさん (会社員)	転勤

共通質問 Q2

以前住んでいた町と三原市の住みやすさを比較したとき、大きな違いはありますか。以前住んでいた町の良いところ、良い施策はありましたか。

三原市の良いところ、良い施策はありますか。または、不足している点、もっと改善するべきと感じる点はありますか。

- 買い物環境 ○医療 ○子育て ○教育 ○公共交通 ○レジャー・娯楽
○歴史・文化 ○道路 ○通信環境 ○自然 ○その他

【質問の意図・目的】

住みやすさという観点から、他市町と三原市を客観的に比較してもらう。

転入者の視点で三原市の良い点、悪い点、改善の余地がある点を抽出する。

<p>Aさん (福岡県太宰府市, 佐賀県鳥栖市)</p>	<p>以前住んでいた福岡県太宰府市は太宰府天満宮, 国立博物館などがあり, 歴史が感じられた。また, 出店制限などもあり, 落ち着いて閑静な住宅街だった。</p> <p>三原市は海と山が近くにあり, 子どもと一緒に島に渡ったり, 山に登ったりできた。自然豊かで景色が良い。また, 市役所のすぐ裏に住んでいるため, 徒歩圏内に必要なものがある。買い物, 駅, 図書館, 飲食店など。子どもは車に長時間乗りたがらないので, 散歩がてら買い物に行ける環境が良い。図書館もよく利用している。教育に力を入れているようにも感じる。クロームブックを持ち帰って活用したり, 低学年から英語の授業があるなど。</p> <p>悪いわけではないが, タコ以外に食の特産品があればいいのではないか。</p>
<p>Bさん (広島県尾道市, 千葉県市川市)</p>	<p>関東では, 国産で新鮮な食品が少ない。三原(尾道も)では, 国産の魚, 肉, 野菜が多く, 安い。例えば, 鯛, 太刀魚があつたりする。地元のもの安心して食べられる。関東ではピーマンやキャベツが外国産のものが多かった。</p> <p>三原市は駅, 買い物, 市役所, 総合病院, 習い事(音楽, スイミング, 塾など)に歩いて行ける。子育てしながら生活しやすい。車がなくても生活しやすい。コンパクトシティがとてもうまくいっている。関東は住宅ばかりが増えて, 必要な施設は郊外に立地していた。</p> <p>東尾道の小学校はマンモス校で子どもが多く, その割に注意してくる地域の大人が少なかった。</p>
<p>Cさん (神奈川県, 東京都)</p>	<p>関東は買い物, 公共交通, レジャー・娯楽, 通信環境が優れていた。三原はその裏返しで, 特に通信環境, 医療が不足している。本郷の社宅で不便さを感じていることは通信環境で, 三原テレビのケーブルを引き込まないと光回線が使えない。世間の通信サービスは価格も内容も様々にあるが, 本郷町は限定されている。</p> <p>三原市が優れているところは, 教育, 歴史・文化, 道路, 自然豊かな環境で子育てできること。教育については, 小学校の行事で先生が熱心だったり, 通学路に先生やPTAが見守ってくれて, 安心して子どもを学校に通わせられた。自然も近くにあり, 都会にはない。歴史・文化は史跡・古墳や滝など。</p> <p>三原はとても住みやすい, 大好きです。三原に住めたことはありがたい。地域も温かい。都会のようにごちゃごちゃ, 殺伐としていない。</p>

Eさん (愛媛県西条市)	<p>三原市は新幹線と空港が近い。四国とは大きな違い。この点は三原市に優位性がある。ただし、新幹線駅や空港があっても、三原に来る理由がなければ、駅や空港がただあるだけになってしまう。</p> <p>以前住んでいた愛媛県西条市は市が企業誘致に力を入れていた。日本製鐵、アサヒビール、倉敷レーヨンなど。行政職員も議員も企業誘致にがつがつとした感じがした。</p> <p>出産できる病院が一つしかないことを問題視する社員がいる。</p> <p>三原には子どもの遊ぶところが少ない。竹原バンブージョイハイランドの遊具が大きくて、よく利用されている。</p>
Dさん (広島県世羅町, 広島県尾道市)	<p>以前住んでいた世羅町や尾道市よりも住みやすい。買い物も最低限のものは全てある。</p>
Fさん (兵庫県神戸市, 大阪府大阪市)	<p>買い物環境、医療、公共交通、レジャー、歴史・文化に関しては自分が動けば不便を感じていない。車があれば不便は全然ない。通信環境も携帯電話の電波が届くのでネットショッピングやウェブ会議ができて、問題を感じない。大和町には飲食店がないことを時折不便に感じることもあるが、一方で、ガヤガヤしていない、隣の家の音が聞こえない環境であることの方がうれしい。仕事とプライベートを分けることもできる。大和町では周りの人と関わることが多く、親密になるスピードも早かった。</p> <p>神戸市は交通網が発達しており、車無しで生活できる手軽さはよかった。しかし、多様な人間関係を作れる環境ではなかった。周りに誰が住んでいるかも知らない。</p>
Hさん (広島県尾道市)	<p>佐木島での生活は交通費（フェリー代）がかかる。</p> <p>鷺浦コミセンなどで市役所の手続きができたりすると便利になる。</p>
Gさん (大阪府)	<p>佐木島は自然が豊かで、無音の中で自然の音や船の音が響いている。環境が良い。</p>
Iさん (東京都日野市, 神奈川県横浜市)	<p>以前住んでいた東京都、神奈川県は買い物環境、公共交通、医療が充実していた。その反面、地域のつながりを感じられず、個々の生活だった。また、歴史・文化も感じられなかった。</p> <p>三原市は都会とは逆の面が良かった。市の講座は今までの町にはなかった。農業の体験、社協の高齢者への取組、地震が少ないことも良い。新幹線があることも良い。</p>
Jさん (東京都、埼玉 県、千葉県、大阪 府)	<p>三原市は住みやすい。江戸川区船堀と東大阪市も住みやすかった。</p> <p>どこの町も行政サービスに大きな差はなく、住む町を選ぶ要素にはならない。</p> <p>生活の利便性は都会にはかなわないので、そこで競争するのではなく、不便さや町の雰囲気、自然などあるものを楽しめるような人をターゲットに絞った方が良い。</p>
Kさん (東京都、埼玉 県)	<p>転勤にあたり車を購入したため大きな不自由はありませんが、車を所持していない場合、公共交通機関の本数が少なく不便かと思う。</p> <p>従業員からは特に家族の賃貸物件が少ない点と、レジャー施設が少ないという声があがっている。</p>

共通質問 Q3	
三原市に住む前と住んでみた後で、三原市のイメージは変わりましたか。変わったとしたら、それはどういうところですか。	
【質問の意図・目的】 住む前と後でイメージのギャップはあるか。住んでみたらイメージよりも住みやすかった、という意見があれば、それが一つの強みになる。	
Aさん	福岡県太宰府市から三原市に来る際に、人から「三原市には何もないよ」と聞いていたが、Q2で言ったように、生活の利便性も高く、自然も豊かで子育て世代からするとものすごく住みやすい。幼稚園への転入もすぐに決まった。夏休みには児童クラブも利用できた。 20代や独身世代にとって、物足りなさはあるかもしれない。
Bさん	三原市のことは知らなかった。
Gさん	驚いたことは、佐木島でもアマゾンが翌日などには届けられること。ネットショッピングができるから不便さは感じない。お店がないことは慣れている。 島外に出るときはフェリーの時間を気にしないといけないので、買い物時間が制限されたりする。
Iさん	三原市のことは知らなかった。三原駅に降りたときは、町の明るさがなく寂しい印象だった。また医療機関や電車の数が少ないことが不安だったが、今は慣れた。これまでは自家用車の生活をしたことがなかったが、車の生活がこれほど便利だとは知らなかった。
Kさん	これまで三原市を知らなかった。思ったより住みやすかったというのが実感。

共通質問 Q4 近隣市町（尾道市，東広島市など）に住むことも検討しましたか。 検討していた場合，どのような点で悩みましたか。	
【質問の意図・目的】 近隣市町との優位性を測る。	
Aさん	検討した。家族5人で住める賃貸物件を探したが，港町と糸崎の2軒しか選択肢がなかった。ここが空いていなければ，近隣の市町に住んでいたかもしれない。
Cさん	単身赴任で社宅しか選択肢はなかった。社宅以外に住む社員も市内に住んでいる。わざわざ他の市町には住んでいない。
Fさん	母親からのすすめで三原市に戻ってきたので，他市町は検討していない。仕事がないければ三原市には帰ってこなかった。三原に仕事があると思っていなかった。
Iさん	尾道市も検討したが，夫の職場が三原市なので通勤を考えて三原市を選んだ。
Kさん	会社への距離を優先して考えたため，個人的には他の選択肢はなかった。社内の転勤者からは，Q2のとおり居住可能な物件が少ないとの声がある。

共通質問 Q5	
<p>転入する際に、三原市からの補助や支援を活用しましたか。</p> <p>そもそも、こういった補助や支援があるのか知っていましたか。</p> <p>活用した場合、使いやすかったもの、転入の決め手になったものはありませんか。</p> <p>反対に、使いにくかったもの、改善した方が良いものがありますか。</p>	
【質問の意図・目的】	
<p>転入の補助や支援が対象者に周知されているか。補助や支援が転入増に効果的か。</p> <p>改善すべき補助や支援はあるか。</p>	
Aさん (2021年～)	補助や支援のことは知らなかったが、挙げてある項目に該当するものはない。
Bさん (2019年～)	補助や支援のことは知らなかった。三原市のHPは何度か見たが、見付けられなかった。活用していない。
Cさん (2014年～)	活用していない。社宅なので対象にならないと思う。
Eさん (2021年～)	知らなかった。活用していない。
Dさん (2007年～)	知らなかった。活用していない。
Fさん (2012年～)	地域おこし協力隊として転入した。任期終了時点で定住に向けた補助や支援はなかった。任期が終わったら町から出ることも考えていたが、任期中に関わった人達から仕事の紹介や定住を勧める声があったので、そのまま市内で生活している。
Kさん (2017年～)	知らなかった。活用していない。

個別質問 住宅に関する質問

Q1 住宅を購入しましたか。または、住宅の購入を検討していますか。

それは三原市内ですか。

- 購入した（市内 or 市外） 購入を検討している（市内 or 市外）
購入していない，検討していない

Q2 住宅の場所（土地）を選ぶ場合に重要なポイントは何ですか。

そのポイントは三原市に当てはまりますか。

- 土地の価格 職場との距離 親族との距離 治安 生活の利便性
災害の有無 地域のつながり 町のイメージ その他

Q3 住宅・土地選びの情報をどのような手段で入手しましたか。

行政からの情報で参考になったものはありましたか。

- チラシ DM ネット広告 テレビCM インターネット SNS
住宅販売イベント クチコミ 親などの親族 その他

【質問の意図・目的】

住宅の購入を希望する人にとって、三原市に魅力があるかどうか。

行政からの効果的な情報発信がされているか。解決の方向性「不動産業者を通じた住宅・土地の情報発信を強化する」「三原市のHPが空き家のポータルサイトとなるように不動産業者と連携する」「住宅メーカーのイベントを活用して周知する」を検証する。

Aさん	Q1 太宰府市に持ち家があるので、購入の検討はしていない。 Q2 住む場所として港町を選んだ理由は、子ども目線の利便性を一番に考えた。学校までの距離や治安など。その他には職場との距離と災害の有無。 Q3 賃貸物件は自分で探したが、会社が提携している不動産屋からの斡旋もある。
Bさん	Q1 市内で購入した。 Q2 生活の利便性、災害の有無、地域のつながりを重視した。 Q3 仮住まいしていた地域の女性のクチコミ
Fさん	Q1 購入も検討もしていない。「買わないか」という声はよくかかる。 Q2 姉家族が住宅を選ぶ際には、生活の利便性、職場との距離、土地の価格などをポイントにしていた。
Iさん	Q3 賃貸住宅をインターネットで探した。
Jさん	Q1 購入していない，検討していない。 Q2 仕事の有無が重要。住む場所を選ぶ際には重要視していなかったが、住んでみた今は、地域のつながりは大事なポイント。
Kさん	Q1 購入していない，検討していない。 Q2 親族との距離 Q3 会社から紹介を受けた不動産会社経由で情報を取得した。

個別質問 親との同居・近居に関する質問

Q1 親と同居・近居（市内）していますか。または、同居・近居を検討していますか。

○同居している ○近居（市内）している ○同居を検討している

○近居を検討している ○同居・近居していない、検討していない

Q2 同居・近居する場合は、自分が親元に行きますか。親を自分の所へ呼び寄せますか。

○自分が親元に行く ○親を自分の所へ呼び寄せる ○未定 ○その他

Q3 親との同居・近居にあたって、行政からどんなサービス・補助があれば、その町を選ぼうと思いますか。

【質問の意図・目的】

解決の方向性「家族丸ごと移住施策によって、多世代のロックインを狙う」を検証する。

Bさん	Q1 同居・近居していない、検討していない。 Q2 三原市の環境がいいので、できればこちらに来てほしいが、親自身は子どもの世話にならず施設に入ろうとしている。
Fさん	Q1 市内で近居しているが、同居は検討していない。両親だけで住んでいる。 Q3 同居を考えたときには、家のリフォームの補助があるといい。
Kさん	Q1 同居・近居していない、検討していない。

個別質問 関係人口に関する質問	
Q1 今後、転出する予定はありますか。 ○転出する ○転出しない ○未定	
Q2 転出後も三原市と関わりを持ち続けたり、観光などで訪れたいと思いますか。 ○思う ○思わない	
Q3 転出後も三原市からの情報（観光、イベント・祭り、特産品、市政情報など）が欲しいですか。どんな情報がほしいですか。	
【質問の意図・目的】 三原市に対する愛着の有無。転出後に関係人口になり得るかどうか。 解決の方向性「転出後も三原市と関わりを持ち続ける取組」の方策を検討する。	
Aさん (会社員)	Q1 3～5年くらいで転勤の可能性があり、ポストがあれば持ち家のある太宰府市に戻るのではないかと。会社も転勤のコストを削減するために、ふるさと人事を進めている。 Q2 思う。三原市で子どもにも交友関係ができ、家族での思い出もあるので、観光などで訪れたいと思う。 Q3 ほしくない。情報は自分から取得できる。
Cさん (会社員)	Q1 未定 Q2 思う。 Q3 色んな情報はほしいが、HPなどは自分で見ることができるので、プッシュ型の情報はほしくない。
Fさん (会社員)	Q1 今すぐではないが、将来的に転出する可能性はある。三原という土地にこだわりはない。今住んでいるのは、地域おこし協力隊のころから家族ぐるみでお世話になっている人の近くにいたいから。その人とのつながりが大和町に住んでいる一番の理由。 Q3 情報はほしい。自分に家族ができたときに、三原市での自分の経験を伝えてあげたいので、観光、イベント・祭り、特産品の情報はほしい。
Iさん (パート)	Q1 近いうちに転勤になる。 Q2 思う。転出後も訪れたい。 Q3 ほしい。
Jさん (会社経営)	Q1 転出する予定はない。
Kさん (会社員)	Q1 未定 Q2 会社（拠点）が存続していれば何らかの関わりを持ちたいと思う。 Q3 ほしくない。

共通質問 Q6 ずばり、どうすれば三原市に転入者が増えると考えますか。ご提案があればお聞かせください。	
【質問の意図・目的】 転入者からの視点として、広く提案を聴く。	
Aさん (会社員)	妻の意見として、SNSやYouTubeを活用して若い人向けの発信がもっと必要。新潟県長岡市ではクリーピーナッツのDJ松永さんがアンバサダーに就任したことでフォロワーが10倍に増えている。また、芸人のエハラマサヒロがパッケージを担当して、むすびとコグマヤが作成したチョコも即完売だった。 私の意見として、就職活動中の高校生・大学生に市内の企業をPRすること。私自身の就職活動の経験で、名前を知っている企業にばかりエントリーしていた。三原市内にも優良企業はあると思うので、そこをもっとPRするといい。
Bさん (専業主婦)	雇用がないことが問題だと感じる。 子育て中の人にタクシーの割引があるといい。 もっとアピールするといい。新鮮な魚や野菜、生活の利便性、お寺・歴史など。イメージをアップさせて、知名度を上げる。
Cさん (会社員)	企業誘致⇒人口増⇒税収増⇒行政サービスの充実 という好循環になればいい。 企業誘致が一番有効だと思う。
Fさん (会社員)	就職するタイミングで市外に出たいと思う人と、市内の実家から通いたいという人がいると思うので、そういう人を手放さないようにするといい。企業が近隣市町にあっても三原から通勤できるような施策があれば、親も安心できる。 就職先の選択肢は、通っていた大学の地域、地元（三原市または県内）、東京などの都会の3択くらいになる。このとき地元（三原市）に戻ってきたら得だと思えるものがあればいい。 中山間地域に住んでいる方の意見で、中山間地域は通信環境も生活環境も悪くない。問題なのは通勤しにくいことだと言っていた。ここがカバーされたら他の人にも移住を勧めることができる。スタートアップの支援がほしいという意見もある。
Hさん (飲食店経営)	若い人の移住を促進するために、年齢別に何を望んでいるか調査する必要がある。 子どもの教育に力を入れているところは家族ごと移住してくるのではないか。
Gさん (地域おこし協力隊)	地域おこし協力隊の役割の一つに空き家対策がある。しかし、専門知識もないので、どのように関わって、どこまでフォローすればいいのかが分からない。他の隊員も同じ思いだと思う。専門性のある支援員が必要だと思う。
Iさん (パート)	三原市の知名度を上げる必要がある。住む場所で尾道市も検討した理由は、尾道市のことを知っていたから。 住みたい町にするためには仕事が必要で、仕事があることをアピールする方が良い。夫が工場の立ち上げで苦勞したのは雇用を確保することだった。

<p>Jさん (会社経営)</p>	<p>働く場づくりは必要。 10年後、30年後の町の未来予想図、理想像を描いて、それを外に向けて発信する必要がある。何十年も住む場所を決める上で動機になり得る。 三原を表現するようなイメージがほしい。長崎には町をイメージする風景などがある。三原の場合は多様なイメージになる。 幸福度を上げるまちづくりが必要。幸福度の指標として、自己実現と成長（やってみよう）、つながりと感謝（ありがとう）、前向きと楽観（何とかなる）、独立と自分らしさ（ありのまま）。この町にすれば自分のやりたいことができると思えるように。 教育、安心安全、経済はマストな施策。これに地域コミュニティ、地域のつながりを大事にする施策に力を入れるべき。これは大きな町にはできない。</p>
<p>Kさん (会社員)</p>	<p>三原市に対する不満はないが、親族や会社の関係がなければあえて三原市への転入を考えることはないかと思う。増えるというよりは、減ることを前提として、居住者のニーズを汲んだ施策に取り組むべきと思う。</p>